

チェアマンから

実りの秋、運動の秋、読書の秋、私たちにとってはダンスの秋でしょうか。この時期、ランチ会員が所属するグループのパーティーも多く催され、あちこちで素敵な笑顔が交わされていることと思います。ランチ主催の各クラスに、また9月に行われたBook50の講習会にも多くの参加をいただき、皆さまのご協力で委員一同感謝しております。

「第5週の土曜日にはSocial Danceを！」という計画のもと、10月29日に秋のSocial Danceが催されます。ちょうどこのレターがお手元に届く頃でしょうか。「初心者が楽しめて、(SCDの重要な要素である) 社交の雰囲気や学べる機会が欲しい」という会員の意見をいただき、今回は初めての試みとして、初心者に焦点を合わせたダンスを企画しました。シンプルなダンスが多いということで熟練者の方々には物足りなく思えるかもしれませんが、こういう機会にこそダンスの先輩として、SCDの素晴らしさを後につづく人に伝えることができたら嬉しいです。事前申し込みも多くいただき、皆さまのご期待に少々プレッシャーも感じていますが、委員も共に楽しい時間を過ごしたいと思っています。

これからも皆さまのご意見ご要望などをもとに、ランチとしての活動を計画実行していきますので、どうぞ運営にご参加ください。また、いつも会場の予約やクラスの講師・MC・ミュージシャンを引き受けてくださる方々のご協力に、この場を借りて感謝申し上げます。

皆さまが「ダンスの秋」を満喫されますように！

小杉 由美子

Book50講習会

9月22日駒込地域活動センターでのBook50講習会は72名で行われました。

雨天の中のご参加、どうもありがとうございました。

講師の鳥山豊喜さん、ピアニストの青山りさんもありがとうございました。

遠方からも大勢いらして、みなさんの熱意が感じられた午後でした。

お気に入りのダンスに出逢えましたか？

どうぞお仲間と各地でお楽しみください。

鳥山さん作成のノートを別紙で同封しております。

またRSCDSのHPでMedia→Audio/Video→Book50の順に開くとビデオがアップされていますのでご参考まで。



サマースクールの印象

Tom Toriyama

RSCDS サマースクール 2016 の第 2 週に参加した。日曜日、英国の鉄道は列車本数が激減する。エジンバラルーカスは突然の運休列車があって、普通なら楽に座れるローカル列車は満席。ルーカスまで 1 時間立ったままであった。

建設中の第 2 フォース道路橋(クィーンズフェリー・クロッシング)は 3 本の主塔が完成し、道路部分を伸長中で、来年夏に完成見込みという。建設費はスコットランド自治政府が出しているの？それとも英国政府？とダンス仲間聞いたが、不明とのことだった。ちなみに現在の道路橋は、120 年は今のままという 1964 年完成時のみくろみであった。しかしながら計画時年間 1100 万台の交通量が今は 2300 万台、塩害による腐食で最大 20%の強度低下があり、第 2 のフォース道路橋の完成が必要とのことである。(明石海峡大橋の交通量は年間 1250 万台)

今年の校長はジム・ストット、副校長がマービン・ショートで、マービンはパートナーのジョン・アレンと一緒にいた。ひところ毎週 200 人を数えたが、サマースクール第 2 週の参加者は 120 人。食堂の四分の一が区分けされ、SCD に関係のない語学研修グループが占めていた。参加費の値上がりや、サマースクール求心力の低下のためであろう。サマースクール大衆化によるビギナーズの増加、それと一線を画したい中堅・上級者のサマースクール離れがある。ソーシャル・ダンシングのレベルは日本のほうが上(ウォークスルーがないと手も足も出ないけれど)といえる。

食堂前のロビーに前会長アレスター・マクファジェンの回顧展示があり、日本関係では岐阜 SCDC の会員証、日本総領事が発行した天皇陛下即位 20 周年記念レセプションの招待状(2009 年)、それに、1989 年、日本での指導者予備試験にイグザミネーターとしてやってきたとき、試験終了後のパーティで踊るアレスターの写真があり、そこには財原和彦氏やヒゲもじやの故内藤愈吉生氏の姿もあった。

十数年前の空き巣事件以来、宿舎のセキュリティが

年々きびしくなり、玄関ドアは常時閉、外から入るときはカードキーが必要となった。カードがないと、宿舎内のだれかが通りがかるまで、外で立ちつくすことになる。ニュー・ホールは昨年アグネス・ブラッカダー・ホールに名称変更された。

フランス人に言わせれば「英国人には舌つてもものがないんだ」であるが、食事はいつものとおり悪くない。日本で大流行している糖質制限はこちらでは無縁、欧米人はカロリーを気にしながらも大甘のケーキをパンパン食べている。

黄色のセーターを着て食堂に行ったら、ハイランドダンスの先生、パム・ディグナンが「トム、いいジャンパーを着ているわね。スコットランド人は黄色を着ることはないけれど」。英国ではセーターをジャンパーと言ひ、黄色は着ないことをはじめて知った。

セント・アンドルーズの街中も変化はほとんどない。スターボックスは昨年存在し、ホリー・トリニティわきの空き地に 3 階建てのコンドミニウムが出来たくらいである。

指導者クラスは生徒 16 人、月一水が先生ジョン・ウィルキンソン、音楽アダム・ブレイディ(ピアノ)で場所は宿舎内のオールドダイニングルーム、木一土がアンジェラ・ヤング/スーザン・マクファジェン(アコーディオン)場所ホリー・トリニティであった。午前の 2 レッスンとも同じ先生、同じ場所であった。ジョンならびにアンジェラの指導は、生徒は基本的な動きはすべてわかっているとばかり、ことば主体でデモはない。セットの 1 人の場所を借りてダンシングすることはなかった。わたしとしては指導者クラスといえど、主要なところは自ら踊って見せるアン・ディックス、ジョン・ジョンストンやマービンのようにあってほしいとおもう。アダム・ブレイディのピアノはしっかりした演奏で、代替曲選定も申し分なかった。スーザン・マクファジェンはクラスでの演奏経験は少なく、これから伸びる人である。

Book 50 のほかには Imperial Book(例:Aird of Coigach)と MacNab(例:Lochanside)からのダンス

を踊った。クラスはスムーズに動ける人からなり、
Book 50 のダンスはすべて楽しく踊れた。日本で指

導すると、サマースクールでは難なく踊れたのに、思
いもしなかったところでトラブルかもしれない。

私の意見 伝統の力

小幡正明

皆さんは Scottish Country Dancer を読んでいますか。私は日本語版が届いてから翻訳協力者の皆さんに感謝しつつ目を通し、興味のあるところは原文を参照することもあります。

今回の No 22 April 2016 で注目したのは最後の 33 ページにある「私の意見 伝統の力」という記事(原文では 29 ページの 'In My Opinion')です。読んで感じたことを書いてみました。

その後半で、「2カプルのストラスペイが4カプル・セットよりも3カプル・セットで踊った方が良いかを我々は決めなければいけない」、とあります。さらに続きを読むと 48 bar Reel の The Monifieth Star が例としてあげられています。要するに疲れてしまうということですね。

それでは 18 世紀や 19 世紀でのもっと長いセットでは疲れなかったのでしょうか。調べてみると Hugh Thurston の「Scotland's Dance」(109 ページ)には D. R. MacKenzie の本に見られる 1910 年に行われたポールルームでの例が挙げられており、12 カプルからなるセットで、Petronella や Triumph の Lead down the middle and up が walking step で行われていたとあります。

Hugh Thurston の考えでは、今日4カプルセットが好まれるのは現在のテクニックによるもの: dance step は walking よりも疲れるから、のようです。美しく踊るためには体力が必要ですね。

私としては8人全員が同時に踊る状況を好みますので、(疲れな方を取る)3カプルか(多少疲れてしまっても)4カプルにするかといえば、疲れてもやせ我慢をしてきっちり踊る4カプルにします。

7月担当のゼネラルクラスで 48 bar Jig の An' Thou Wert My Only Dear を選んだのはそう意図したものではありませんが結果的には頑張ってもらったことになります。

次に4カプルセット3カプルダンスについて考えます。長いセットでは何の問題もなかったものが4カプルセットにしたために不都合になったものがあります。例を挙げると: College Hornpipe, Duke and Duchess of Edinburgh, Waverley, Maxwell's Rant, Muirland Willie, Wild Geese, etc.

要するに 3rd couple も最初から同時に踊り始めるものです。現状でははじめの3曲は2回目の終わりに 1st couple が bottom に下がって入れ替わり、次の3曲は3回目の初めに bottom から頑張って踊り始めることで解決するようにしていて、同様の踊りはたくさんあります。

いつきの調整で解消できるというのでしょうかが自然とも美しいとも思えません。5カプルセットにすれば簡単に解決できることなので、5カプルセットで踊りたいものです。

ここでまた初めの話題にも関連しますが、5カプルセットで3カプルダンスを皆が踊ると3x5=15回の繰り返しが必要になり疲れる反面休みも多くなります。昔のミュージシャンもおそらく大変だったと思われる一方、適した録音がないのも困りものです。English Country Dance や Contra Dance のようにもっと長いセットで3カプルのマイナーセットが一斉に踊ることも考えられますが、例えば4回の繰り返しでも 1st couple はず〜と 1st couple のまま4回続けることになり dance step で頑張る疲れやすい Scottish Dancers には多分不評でしょう。何か良い方法はないでしょうか。

上の二つの話題に対して良い着地点が選べるのでしょうか。2カプルダンスのセット数の方はどちらかに決めやすいですが、3カプルダンスの方は難しいかなとも思っています。クラスで強引に試してみることも視野に入れてはいるわけではありませんが、考えをお聞かせいただくと嬉しいです。

なお、訳文で『18 世紀や 19 世紀においては「できるだけ多くのカプル」でセットを作り』とあるのは、原文が 'as many as possible' ではない 'as many as will' なので「好みの数のカプル」が良いと思います。

運営委員会報告

2016年7月2日 童夢館2F 家庭科室

1. 各担当の引き継ぎ状況

- ・各担当は仕事の引き継ぎをほぼ完了。トレジャラ、ショップの郵貯関係も完了（ショップは前期発注の支払い今期に繰り越しているのに注意）。
- ・クラスの次回会場等、事前連絡はクラス担当が行うことを確認。

*クラス担当から：会場職員より、ホームページのクラス案内で会費額が掲載されているが、利益を目的としている団体は使用不可なので、どうなっているのかと問われ、会場費支払いのため利益は出ていないと説明した。いつも赤字だから問題ないが、会場廊下での受付の会費受け取りには注意すること。

2. Weekend2017

- ・会期・会場について：大江戸温泉 日光霧降物語ホテルが2017年5月26-28日の2泊3日で仮予約されている。日時会場の変更は無し。
- ・講師について：Angela Young に来日可能と返事を貰っているため、これから正式に交渉する。
- ・委員全員が把握しておくよう今後の流れを説明。

3. Book50 講習会

- ・日時・会場は9月22日12:30~16:45 駒込地域活動センター・地下ホール、委員集合時間は11:00（受付開始12:30）
- ・午前9:00から準備のため取っているため、早く来た人は中で食事してもらえ。
- ・講師：鳥山豊喜氏一人、佐藤仁美さんは辞退。（県連の行事と重なったとのこと）
- ・ピアニストは青山るりさんに打診する。

4. ソーシャル・ダンス検討

- ・10月に第五土曜日があるので、開催するかどうか検討、今までの形でなくビギナーズ、インターミディエイト・クラスの人を対象のパーティ・デビューのようなものを開催する。
- ・日時は10月29日（土）13:30~16:30となる

ため、7月29日（金）協力者2名と委員1名で抽選に行き、確保次第、お知らせを8月発送ニュース9-10号に同封する。

- ・プログラム、MC、ミュージシャン候補は8月委員会で検討する。

5. 本部関係

- ・委員交代で、残留の西森、石田のほか小杉、小幡、尾崎、寺山が新 delegate 登録を承諾する。

6. その他

- ・No33 会報は、グループ紹介欄に掲載依頼書到着次第完成させて8月26日ごろニュースに同封する。
- ・三ランチ会議が8月28日（日）高田馬場戸塚地域センター6Fで行われるので、New Year Dance の日取り調整のため、他ランチの行事予定確認をする。
- ・ランチ・クラスの会場予約は8月まで確定。
- ・8月ジェネラル・クラスはCD使用。
- ・10月の Unit 1 受験希望申し込みしているか若松・前セクレタリに確認する。
- ・チェアマンからホームページを魅力的なものにするアイデア考えたいと提案で話し合う。

RSCDS のホームページから興味深い内容を日本語で紹介する、ティーチャーズ・コーナーのようなものを作り、ダンスの疑問点とか掲載、自由につぶやくコーナーなどを企画して、もっと閲覧する人を増やしたい。

2016年8月6日 童夢館2F 家庭科室

1. ソーシャル・ダンス

- ・10月29日（土）13:30-16:30 会場確定を予想し、お知らせは8月配布できるよう準備する。
- ・プログラム決定、MC 候補者の兼松、富谷さんに会場未確保の状況説明の上、内諾を得る。
- ・ミュージシャンはなしで、CD 使用。
- ・会費は1000円とし、各クラスやHPでも宣伝して、早期申込者は800円にする。

- ・デモをして見せてあげたらどうか?という案が出るので検討することに。

2. Weekend2017

- ・講師との交渉状況を(Angela Young からの正式承諾を得たので)随時ニュース、HPで会員に伝える。
- ・チラシ作製・配布時期は来年2月末、そこから逆算の形で準備を進めることを確認。Weekendのタイムテーブル、内容のアイデアを持ち寄り、9月委員会で検討する。

3. Book50 講習会

- ・準備状況確認し、宣伝のためニュースにもう一度掲載する。
- ・鳥山さんの Book50 のノートを講習会終了後の10月発送時に同封する。

4. New Year Dance 2017

- ・開催可能日を検討し10月8,9,14,15,21,22日の早い日にち順に抽選に行く。
- ・お知らせ配布(10月末)のため、事前にMC候補者、ミュージシャン候補者に打診する。
- ・プログラム案作成担当者決める。

5. 本部関係

- ・HQからのマガジン掲載の5つの計略に関連した質問について話し合う。
結論として、担当者へ年間活動を知らせて、HPの内容を魅力的にしてSCDを広める努力をしていくことと、海外からのダンサーとの交流を図るため、参加しやすいようにRSCDSのHP積極的に活用してランチの行事を知らせる。日本に馴染みのないSCDを知ってもらえるようなイベントをしたいが、会場確保がネックとなっている現状を伝える。

6. その他

- ・三ランチ会議でNew Year Danceの開催日が重ならないよう、他ランチの予定を確認してくる。
- ・ランチ・クラス会場予約はジェネラル9月、ビギナーズ、インターミディエイトは10月まで確保。

- ・担当者は9月・10月ジェネラル・クラスのティーチャーにミュージシャンの有無を確認する。
- ・ニュースのメール配信希望は現在十数人。賛同者の増加のため当分協力を呼びかける。

2016年9月3日 童夢館2F 家庭科室

1. ソーシャル・ダンス

- ・荒川グループから13名申し込みあり、早期割引制にしたことで参加人数を予測できるのがいい。各ランチ・クラスや身近な人に声掛けしてさらに参加者を募る。
- ・音楽CD作成と壁プロ作成者決める。
- ・初心者のためのダンス会なのでパーティのマナーも伝えてもらえるようMCに依頼する。

2. Weekend2017

- ・Weekendのタイムテーブル・内容検討、おおむね前回時間配分で行うが、2日目の午後のギャザリングをどのように進めるかを検討する。講師のお話(会員からも聞きたい話題があれば連絡してもらいたいとニュースに掲載する)、演奏会(ご夫妻で)、ケイリーとかの案が出る。
- ・フリータイムを前回のようやり方で希望者へのウォークスルー・タイムにする。内容が把握できるような案内を作る。
- ・2月のチラシ配布時まで、今後さらに案を練る。

3. Book50 講習会

- ・最終確認:集合時間11時、受付開始12時。ピアニストに練習可能時間の連絡をする。
- ・ピアノ、マイク借用の連絡済み、書類は当日記入して支払う。

4. New Year Dance 2017

- ・MC候補者を挙げ、日時が未定だが交渉開始。
- ・ミュージシャン候補者も交渉。
- ・会場抽選者を決める。10/8 牧野、10/15 西森、10/21 尾崎、10/22 小杉
- ・ダンス・プログラム検討したが、順番に並べてダイアグラムで一覧できるように担当者は再作成して来月決定。

5. 本部関係

- Delegates 変更の書類がメールで届いたので、HQ 担当者へ新 Delegates プロフィールをメールし、新 Delegates の自筆署名文書をセクレタリがまとめて HQ に送ると説明。

6. その他

- ダンス関係の不用品の対処法について検討。各イベント開催時に、バザー形式にする。現在ショップで持っている在庫と合わせ、女性用シューズが 1 足あるので、ニュースで寄付協力も募る。
 - ショップ担当者からの問題点：受注品の到着時期がずれていて、一括送付が難しい、支払い形式がバラバラで、苦労していると報告をうける。
- ブランチ・クラスの会場予約状況：10 月クラスはいつも通り確保。
- 三ブランチ会議報告
- 次回 Unit 1 担当は東京ブランチ、11/14 が HQ 締め切りのため、10/26 にお知らせを発送する際、ブランチ締め切りを本部締め切りに間に合うよう設定する。実施は 2 月。

2016 年 10 月 1 日 童夢館2F 家庭科室

1. ソーシャル・ダンス

- 参加者確定人数 49 名
- 最終確認：委員集合 12:30 受付開始 13:15 開始 13:30~16:30、音楽 CD、養生テープ、委員名札準備、MC の交通費確認

2. Weekend2017 関係

- Angela へ主に二日目のギャザリングの内容を伝え、返事待ち。航空券の手配もお願いすること。
- 会員へは 2 月お知らせチラシ配布の際に、リクエストがあるか問う。

3. Book50 講習会総括

- 参加者数合計 72 名（会員 52 名、非会員 20 名）
- 収益 39,080 円
- You tube ですぐ紹介されることもあり参加者の多くが予習してきているのと、ミュージシャン

を依頼したのでスムーズに流れて、おおむね成功したと判断する。

4. New Year Dance 2017 関係

- 1 月 8 日か 15 日が取れると仮定し、交渉の結果 MC（長峯真弓、若松陽子）・ミュージシャン（小海弘子、大森ヒデノリ）で進める。
- ダンス・プログラム検討後決定したので、26 日発送のためのチラシ作成
- 更衣室を 11 月に予約する。

5. 本部関係

- 委員交代後すぐに変更手続き完了したにもかかわらず、HQ からのブランチへのメールが前セクレタリに届いていることが分かったので、担当者へ再度メールした。
- Delegates の交代も受け付けたと返事が来たが、Branch profile 更新されていないので、催促メールする。

6. 今月配布文書について

- ブランチ・レター105：原稿完成したら全員でチェックし、印刷に出す。
- Unit 1 次期開催のお知らせをニュースに入れるが、10 月 26 日の発送になり、従来のブランチ締め切り 10 月 30 日では厳しいため 11 月 7 日に変更する。このことは他 2 ブランチに連絡する。
- New Year Dance お知らせ：ブランチ・クラスへも置いておいては、との意見が出て実施する。
- その他の同封文書：鳥山氏の Book50Note、レディース・ステップやパーティ委託チラシ。

7. その他

- ジェネラス・クラスの施設利用カードは今年 12 月 12 日までのため、申請手続きが必要、必要書類三種類を揃えて、風見さんに依頼する。
- 神田の会場でも来年限（3 月 31 日）のため、再申請方法を受付で調べておくこと。
- 会場予約状況：変わりなし。11 月ジェネラル・クラス担当若松さんから市川洋子さんをピアニストにとの連絡あり、委員会で承諾伝える。

ブランチ・クラスで取り上げたダンス

・ビギナーズ・クラス

6月13日 講師 鳥山 豊喜

- | | | |
|-----------------------------|------|-------------|
| 1. Village Reel | S-32 | BK 20 |
| 2. Links With St Petersburg | J-32 | BK 46 |
| 3. Hana Strathspey | S-32 | Tokyo 25th |
| 4. Domino Five | R-32 | Graded BK 2 |

6月27日 講師 鳥山 豊喜

- | | | |
|-------------------------|------|----------------|
| 1. Miss Ogilvie's Fancy | S-32 | BK 20 |
| 2. Bon Voyage | R-32 | Reel Friends 1 |
| 3. Lady Lucy Ramsay | S-32 | MMM 2 |
| 4. The Waratah Weaver | J-32 | Graded BK 2 |

7月11日 講師 篠塚 昌子

- | | | |
|----------------------------|------|--------------|
| 1. Lamb Skinnet | J-32 | BK 14 |
| 2. Roxburgh Castle | R-32 | BK 6 |
| 3. Andrew and Gordon's Jig | J-32 | Roy Goldring |

7月25日 講師 篠塚 昌子

- | | | |
|--------------------------------|------|-------------|
| 1. Donald Bane | S-32 | BK 17 |
| 2. Lady Catherine Bruce's Reel | J-32 | Graded BK 1 |
| 3. Anderson's Rant | R-32 | MMM1 |

8月8日 講師 篠塚 昌子

- | | | |
|-----------------------------------|------|-------|
| 1. The Laird of Milton's Daughter | J-32 | BK 22 |
| 2. Wisp of Thistle | S-32 | BK 37 |
| 3. Cold and Raw | J-24 | BK 5 |

8月22日 台風接近により中止

9月12日 講師 篠塚 昌子

- | | | |
|----------------------|------|---------|
| 1. The Silver Tassie | J-32 | Leaflet |
| 2. Ways in New Hall | R-32 | BK 42 |
| 3. Espie McNabb | J-32 | MMM1 |

9月26日 講師 篠塚 昌子

- | | | |
|-------------------------------|------|-------|
| 1. The Deil Amang The Tailors | R-32 | BK 14 |
| 2. The Birks of Invermay | S-32 | BK 16 |
| 3. Rabbie's Reel | R-32 | BK 40 |

・インターメディエイト・クラス

7月4日 講師 境 雅子

- | | | |
|------------------------------|------|---------------------|
| 1. B.I.B | J-32 | The Amisfild Dances |
| 2. Drive The Hot Summer Away | R-32 | Obata Masaaki |
| 3. Miss Lesley Martin | S-32 | Rosemary Crabb-Wyke |

-
- | | | |
|----------------------------|------|------------------------|
| 4. Wake Up Ones | J-32 | Third Sheaf Collection |
| 5. Mrs. Kondo's Strathspey | S-32 | Obata Masaaki |

8月1日 講師 金田 治子

- | | | |
|--------------------------|------|----------------------|
| 1. The Spring Fling Reel | R-40 | Bk 50 |
| 2. Ellie's Jig | J-40 | Slip Knot Collection |
| 3. Bruce's Men | S-32 | Scotia suite |
| 4. Dancing Dolphins | J-32 | Skelton Dolphin Bk |
| 5. Ways in New Hall | R-32 | Bk 42 |

9月5日 講師 渡部 多美子

- | | | |
|--------------------------|------|----------------|
| 1. Gaelforce Wind | J-32 | Gr 2 |
| 2. Ways in New Hall | R-32 | Bk 42 |
| 3. Jimmy's Fancy | S-32 | Bk 14 |
| 4. The Jackdaw | J-32 | Reel Friends 2 |
| 5. The Birks of Invermay | S-32 | Bk 16 |

・ジェネラル・クラス

7月2日 講師 小幡正明

- | | | |
|-------------------------------|------|--------|
| 1. An' Thou Wert My Only Dear | J-48 | BK21 |
| 2. Travelling to America | R-40 | Coull |
| 3. Adieu Mon Ami | S-32 | BK24 |
| 4. Back to the Fireside | R-32 | BK38 |
| 5. Over the Water to Charlie | J-32 | BK34 |
| 6. The Sunlit Square | S-64 | Drewry |

8月6日 講師 鳥山豊喜

- | | | |
|----------------------------|------|-------------------------------------|
| 1. Rudha Dubh | R-48 | BK 23 |
| 2. S-Locomotion | S-32 | BK 41 |
| 3. Les Remparts de Seville | J-32 | BK 50 |
| 4. Culzean Castle | J-32 | J Bradley-Culzean Castle Collection |
| 5. The Fete | S-32 | BK 25 |
| 6. The Pentagon | R-32 | J Drewry-Cherry Blossom Book |

9月3日 講師 鳥山豊喜

- | | | |
|------------------------------|------|----------------------------------|
| 1. Wetwang's Wandering Piano | R-32 | A Brown-York & N Humberside 40th |
| 2. The Lady of Wallroth | S-32 | R Bolte-Leaflet |
| 3. Double Trouble Triangles | R-48 | BK50 |
| 4. Aird of Coigach | J-48 | Imperial Book |
| 5. Midsummer Common | S-32 | BK49 |
| 6. The Spring Fling Reel | R-40 | BK50 |
-